

月	単元・学習内容	評価規準（到達目標）	観点別評価			評価方法
4	年度始休業		ア	イ	ウ	
5	1 地図と地理情報システム					
	11 地球上の位置と時差	緯度・経度の違いが人々の生活に与える影響を理解することができる。	○			小テスト・課題プリント
	12	時差の仕組みを理解し、人々の生活に与える影響を考察することができる。	○	○		
	13 地図の役割と種類	各図法の特徴について理解し、目的に応じて使い分けすることができる。	○	○		
	14	主題図と一般図の違いや各種統計地図の特徴を理解し、目的に応じて使い分けすることができる。		○	○	
15	地理情報システム(GIS)のしくみやこれを支える技術、GISの活用場面について理解しており、基礎的・基本的な技能を身に付けている。	○	○			
6	2 結びつきを深める現代世界					
	21 現代世界の国家	国境の種類や国家の三要素を理解できる。	○			都道府県小テスト・課題プリント
	22 日本の位置と領域	日本と周辺国の関係性を国境の在り方からとらえることができる。	○		○	
23 グローバル化する世界	グローバル化に伴い、世界の国々の結びつきに変化がみられる。ここでは主に貿易や交通、通信、観光の面から変化の特徴や現在抱える問題点について理解し、考察することができる。	○	○			
前期中間考査						
7	3 生活文化の多様性と国際理解					
	31 世界の地形と人々の生活	地形形成の二つの営力、プレートテクトニクスについて理解することができる。	○	○	○	世界の山脈名 小テスト 立体視・地形図作業 ケッペンの気候 (夏休み課題)
	32	平野や海岸地形とそこで営まれる人間生活のかかわりを理解することができる	○	○	○	
33 世界の気候と人々の生活	気候因子の影響により気候に違いが現れ、人々の生活にどう影響するか理解することができる。	○	○	○		
8	夏季休業					
前期期末考査						

9	34		ケッペンの気候区分の考えと人間生活とのかかわりを理解することができる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	ケッペンの気候小テスト	
10	35		オセアニア・東南アジアの自然と人間生活とのかかわりを理解できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
11	36	世界の言語・宗教と人々の生活	言語や宗教の分布の特色を理解することができる、また国家間の関係を文化的な側面から考察することができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	37		西アジア・インドの文化と人間生活とのかかわりを理解することができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	アジア国名・地名小テスト	
後 期 中 間 考 査								
12	38	歴史的背景と人々の生活	植民地支配や市戦など歴史的背景が地域の人々の生活に大きく影響していることについて理解することができる(ラテンアメリカ・アフリカ・ロシア)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	ヨーロッパ予習プリント(冬休み課題)	
冬 季 休 業								
1	39	世界の産業と人々の生活	産業のグローバル化が人間の生活に与えた影響を多面的に考察することができる。(ヨーロッパ・北アメリカ・東アジア)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	ヨーロッパの国名小テスト	
	4	地球的課題と国際協力		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	41	複雑に絡み合う地球的課題	地球的課題の解決に向けてどのような視点が求められるか考えることができる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	42	地球環境問題	地球環境問題にはどのような種類があり、どのような原因で発生するか理解できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	43	資源・エネルギー問題	世界の資源やエネルギーの種類や分布の特色について理解できる。また資源エネルギーの現在および将来の課題について多面的に考察することができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	44	人口問題	人口ピラミッドなどから人口推移の特徴を読み取ることができる。また先進国と発展途上国での人口問題について比較しながら考察することができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	45	食糧問題	国際間の食料需給の偏りが生じる要因や食料問題を解決するための取り組みについて理解できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	46	都市・居住問題	世界の都市の発達や大都市の分布についての地理的な特徴を理解することができるまた発展途上国と先進国の都市・居住問題について比較して考察することができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	5 自然環境と防災							
	2	51	日本の自然環境	日本の地形と気候の特徴を理解することができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	日本の地形小テスト
52		地震・津波と防災	地震・津波の被害の地域差の要因について理解し、地域における防災・減災の取り組みについて多面的に考察することができる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
53		火山災害と防災	火山災害の地域差の要因について理解し、地域における防災・減災の取り組みについて多面的に考察することができる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
54		気象災害と防災	気象災害の地域差の要因について理解し、地域における防災・減災の取り組みについて多面的に考察することができる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
後 期 期 末 考 査								

	55 自然災害への備え	日ごろからの防災の意識を持ち、適切に災害情報を活用し、行動することができる。	○ ○ ○	
	6 生活圏の調査と地域の展望			
3	61 生活圏の調査と地域の展望	身近な地域の課題について、適切に情報収集解決に向けて主体的に取り組むことができる。	○ ○ ○	

28

68

